



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社オカムラ

コード番号 7994

URL <http://www.okamura.co.jp/>

代表者 (役職名)代表取締役 社長執行役員 (氏名)中村 雅行

問合せ先責任者 (役職名)取締役 執行役員 コーポレート担当 (氏名)福田 栄 (TEL)045-319-3445

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	167,036	△5.8	6,102	4.3	7,191	1.1	5,536	10.7
2020年3月期第3四半期	177,400	△0.7	5,850	△11.4	7,116	△9.5	5,001	△17.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 10,141百万円(57.5%) 2020年3月期第3四半期 6,438百万円(242.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年3月期第3四半期	円 銭 51.17	円 銭 —
2020年3月期第3四半期	45.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年3月期第3四半期	百万円 228,745	百万円 133,585	% 58.0
2020年3月期	236,327	135,497	56.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 132,584百万円 2020年3月期 134,282百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年3月期	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 —	円 銭 16.00	円 銭 32.00
2021年3月期	—	12.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	16.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	242,000	△4.4	13,000	△2.9	14,200	△3.5	10,000	1.5	92.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	112,391,530株	2020年3月期	112,391,530株
2021年3月期3Q	11,957,768株	2020年3月期	2,249,872株
2021年3月期3Q	108,198,313株	2020年3月期3Q	110,145,876株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9
(重要な後発事象)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、雇用・所得環境の悪化が続き経済活動が停滞する動きとなりました。昨年5月下旬の緊急事態宣言解除後は、感染拡大防止策を講じつつ経済活動は徐々に再開されておりましたが、1月に緊急事態宣言が再度発出され、回復ペースが鈍化するものと考えております。

このような状況のもと、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策としての在宅勤務における働く環境の調査結果及びニューノーマルのワークプレイスを考える指針となるレポートを公開するなど社内の知見を活かした情報発信や、自らウイズコロナの働き方に挑戦するとともに、特徴ある製品づくりやトータルソリューション提案による新しい市場創出に努めてまいりました。また、当第2四半期連結会計期間半ば以降、急激に活発化したお客様の要求に応えるべく対応してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高167,036百万円（前年同四半期比5.8%減）、営業利益6,102百万円（前年同四半期比4.3%増）、経常利益7,191百万円（前年同四半期比1.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,536百万円（前年同四半期比10.7%増）となりました。なお、第3四半期連結会計期間の売上高、営業利益は、ともに過去最高となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、前連結会計年度より、従来「その他」に含まれていた「物流システム事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

セグメントの名称	売上高(百万円)			セグメント利益又は損失(△)(百万円)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減
オフィス環境事業	91,008	86,438	△4,570	3,265	3,707	441
商環境事業	72,028	66,470	△5,558	1,516	1,514	△2
物流システム事業	10,662	10,972	310	978	1,053	74
その他	3,700	3,154	△545	89	△172	△262
合計	177,400	167,036	△10,363	5,850	6,102	251

(注) セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

オフィス環境事業

オフィス環境事業につきましては、働き方改革など新しいオフィスづくりへの動きは、業種・規模を問わず全国の幅広い企業層に広がっており、また、コロナ禍での働き方の急激な変化を受け、なお一層活発化しています。このような状況のもと、新しい働き方や環境を実践・検証する実験オフィス「ラボオフィス」での実証結果や自社での働き方改革における様々な施策の実践により得られた知見を活かし、新しいオフィスづくりの提案を積極的に展開した結果、第3四半期連結会計期間の売上高、営業利益は、ともに過去最高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、86,438百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益は、3,707百万円（前年同四半期比13.5%増）となり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は減少、利益は増加に転じました。

商環境事業

商環境事業につきましては、当社の主要顧客である食品スーパー、ドラッグストア等小売業を中心に、コロナ禍における営業継続要請で休業が困難となったことにより当第1四半期連結会計期間の改装需要が大きく停滞いたしました。その後急激に回復してきております。このような状況のもと、店舗什器、カート機器、セキュリティ製品など総合力を活かしたトータルソリューション提案を強化するとともに、感染防止対策に関する新しい需要の取り込みに努め、第3四半期連結会計期間の売上高、営業利益は、ともに過去最高となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、66,470百万円（前年同四半期比7.7%減）、セグメント利益は、1,514百万円（前年同四半期比0.2%減）となり、前年同四半期連結累計期間に比べ、売上高は減少、利益は横ばいとなりました。

物流システム事業

物流システム事業につきましては、人手不足を背景とした省人・省力化への要望は強く、大型物流施設を中心に自動倉庫の需要は概ね計画通りに推移いたしました。このような状況のもと、優位性のある製品の強みを最大限に活かした積極的な提案活動を展開するとともに、施工現場での感染予防対策を徹底し、エンジニアリング体制の強化にも努めたことにより売上高、利益ともに増加いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、10,972百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益は、1,053百万円（前年同四半期比7.7%増）となり、売上高、利益ともに過去最高となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、次のとおりであります。

総資産は、前連結会計年度末から7,581百万円減少して228,745百万円となりました。流動資産は、現金及び預金の増加、売上債権の減少を主な要因として12,929百万円減少し、固定資産は、投資有価証券の増加を主な要因として5,348百万円増加いたしました。

負債は、短期借入金及び繰延税金負債の増加、仕入債務、未払法人税等及び賞与引当金の減少を主な要因として、前連結会計年度末から5,669百万円減少して95,160百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金及び自己株式の増加を主な要因として、前連結会計年度末から1,911百万円減少して133,585百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.2ポイント増加して58.0%となりました。

当第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益7,551百万円、減価償却費4,626百万円及び売上債権の減少額20,509百万円等による増加と、賞与引当金の減少額2,842百万円、仕入債務の減少額4,884百万円及び法人税等の支払額4,360百万円等による減少の結果、21,584百万円の資金増加（前年同四半期は13,811百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却及び償還による収入1,758百万円等による増加と、有形固定資産の取得3,550百万円及び無形固定資産の取得679百万円等による減少の結果、2,416百万円の支出（前年同四半期は3,448百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加額1,802百万円等による増加と、自己株式の取得8,829百万円及び配当金の支払額2,928百万円等による減少の結果、11,127百万円の支出（前年同四半期は1,487百万円の支出）となりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末から7,865百万円増加（前年同四半期は8,732百万円の増加）し、39,363百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2020年11月6日に公表しました2021年3月期の連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年2月4日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	32,594	40,149
受取手形及び売掛金	71,581	51,072
有価証券	510	510
商品及び製品	11,921	11,852
仕掛品	1,593	1,588
原材料及び貯蔵品	4,621	4,739
その他	2,007	1,982
貸倒引当金	△28	△23
流動資産合計	124,801	111,872
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,249	14,988
土地	27,829	28,106
その他(純額)	15,018	15,220
有形固定資産合計	58,097	58,316
無形固定資産	3,762	3,286
投資その他の資産		
投資有価証券	41,555	47,511
その他	8,136	7,787
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	49,664	55,270
固定資産合計	111,525	116,873
資産合計	236,327	228,745

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	27,324	21,418
電子記録債務	15,844	16,829
短期借入金	6,244	8,040
1年内返済予定の長期借入金	2,552	2,393
未払法人税等	4,272	923
賞与引当金	4,419	1,577
その他	6,754	7,383
流動負債合計	67,413	58,566
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	3,343	2,919
退職給付に係る負債	15,573	16,422
その他	4,500	7,252
固定負債合計	33,416	36,593
負債合計	100,830	95,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,670	18,670
資本剰余金	16,766	16,766
利益剰余金	92,528	94,975
自己株式	△2,442	△11,276
株主資本合計	125,522	119,135
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,614	14,387
為替換算調整勘定	△23	△218
退職給付に係る調整累計額	△831	△720
その他の包括利益累計額合計	8,759	13,448
非支配株主持分	1,214	1,001
純資産合計	135,497	133,585
負債純資産合計	236,327	228,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	177,400	167,036
売上原価	121,460	112,884
売上総利益	55,939	54,152
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	7,854	6,676
給料及び手当	16,530	17,304
賞与引当金繰入額	1,598	1,178
賃借料	6,683	6,550
その他	17,421	16,339
販売費及び一般管理費合計	50,089	48,049
営業利益	5,850	6,102
営業外収益		
受取利息	20	21
受取配当金	869	843
持分法による投資利益	264	188
助成金収入	-	259
その他	496	395
営業外収益合計	1,650	1,708
営業外費用		
支払利息	121	124
為替差損	78	62
固定資産除売却損	47	216
その他	136	215
営業外費用合計	384	619
経常利益	7,116	7,191
特別利益		
固定資産売却益	276	-
投資有価証券売却益	178	1,253
雇用調整助成金	-	96
特別利益合計	454	1,349
特別損失		
減損損失	28	34
投資有価証券売却損	-	6
投資有価証券評価損	-	751
子会社清算損	177	-
操業休止関連費用	-	197
特別損失合計	206	989
税金等調整前四半期純利益	7,364	7,551
法人税、住民税及び事業税	1,920	1,195
法人税等調整額	437	840
法人税等合計	2,358	2,036
四半期純利益	5,006	5,514
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	4	△21
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,001	5,536

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,006	5,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,433	4,796
為替換算調整勘定	△165	△196
退職給付に係る調整額	135	110
持分法適用会社に対する持分相当額	29	△83
その他の包括利益合計	1,432	4,626
四半期包括利益	6,438	10,141
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,452	10,224
非支配株主に係る四半期包括利益	△13	△83

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,364	7,551
減価償却費	4,414	4,626
減損損失	28	34
子会社清算損益(△は益)	177	-
操業休止関連費用	-	197
固定資産除売却損益(△は益)	△236	168
持分法による投資損益(△は益)	△264	△188
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△65	△4
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,744	△2,842
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	904	1,017
受取利息及び受取配当金	△890	△864
支払利息	121	124
支払補償費	-	68
投資有価証券売却損益(△は益)	△178	△1,246
投資有価証券評価損益(△は益)	-	751
雇用調整助成金	-	△96
売上債権の増減額(△は増加)	12,827	20,509
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,087	△50
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,328	△4,884
未払消費税等の増減額(△は減少)	185	△523
その他	95	923
小計	17,324	25,270
利息及び配当金の受取額	915	885
利息の支払額	△116	△122
補償費の支払額	-	△68
雇用調整助成金の受取額	-	96
操業休止関連費用の支払額	-	△116
法人税等の支払額	△4,311	△4,360
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,811	21,584
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△947	△551
定期預金の払戻による収入	697	856
有形固定資産の取得による支出	△4,014	△3,550
有形固定資産の売却による収入	431	18
無形固定資産の取得による支出	△999	△679
投資有価証券の取得による支出	△126	△216
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,423	1,758
その他	87	△52
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,448	△2,416
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,459	1,802
長期借入れによる収入	-	440
長期借入金の返済による支出	△388	△1,022
社債の発行による収入	5,000	-
自己株式の取得による支出	△0	△8,829
配当金の支払額	△3,097	△2,928
その他	△541	△588
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,487	△11,127
現金及び現金同等物に係る換算差額	△142	△175
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	8,732	7,865
現金及び現金同等物の期首残高	26,133	31,497
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,866	39,363

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

自己株式の取得

当社は、当第3四半期連結累計期間において、2020年5月13日及び2020年11月18日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を9,702,700株、8,829百万円取得しております。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は11,957,768株、11,276百万円となっております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	物流 システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	91,008	72,028	10,662	173,700	3,700	177,400	—	177,400
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	91,008	72,028	10,662	173,700	3,700	177,400	—	177,400
セグメント利益	3,265	1,516	978	5,760	89	5,850	—	5,850

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パワートレーン事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」「商環境事業」「物流システム事業」及び「その他」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、前第3四半期連結累計期間においては「オフィス環境事業」セグメントで10百万円、「商環境事業」セグメントで3百万円、「物流システム事業」セグメントで14百万円、「その他」セグメントで0百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	オフィス 環境事業	商環境 事業	物流 システム 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	86,438	66,470	10,972	163,881	3,154	167,036	—	167,036
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	86,438	66,470	10,972	163,881	3,154	167,036	—	167,036
セグメント利益 又は損失(△)	3,707	1,514	1,053	6,274	△172	6,102	—	6,102

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、パワートレーン事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オフィス環境事業」「商環境事業」及び「物流システム事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「オフィス環境事業」セグメントで22百万円、「商環境事業」セグメントで4百万円、「物流システム事業」セグメントで8百万円であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2020年11月18日開催の取締役会において決議した会社法第178条の規定に基づく自己株式の消却を2021年1月29日付で完了しております。

(1) 消却した株式の種類	普通株式
(2) 消却した株式の総数	11,770,509株(消却前の発行済株式総数に対する割合 10.47%)
(3) 消却実施日	2021年1月29日